

アフターコロナ期の産業別雇用課題に関する プロジェクトチーム

1 P T 設置趣旨

- 新型コロナの雇用・経営に及ぼす影響が長期化するなか、雇用調整助成金の手厚い特例措置で事業主の雇用の維持を強力的に支援してきた一方で、最近では足下の雇用情勢は求人を持ち直しの動きが見られ、多くの産業で人手不足感が強まっている。
- 今後はアフターコロナ期を見据えた経済活動の回復が見込まれるところ、労働市場の健全な流動を促して人手不足分野や成長分野における人材活用を進めるとともに、基幹的な産業においては政策的に人材確保を図って産業の体質強化を進めることが望まれる。
- このため、雇用調整助成金の支給動向等をもとにコロナ禍における産業別の人材確保をめぐる傾向を把握するとともに、ヒアリング等を通じてコロナ禍の雇用維持に係る業種別の（特有な）課題を洗い出し、雇用調整助成金から産業対策への円滑な移行・連携を見据えた基礎的検討を行うことを目的に、古賀副大臣をトップとするプロジェクトチームを立ち上げる。

2 検討内容

(1) 現状分析

■雇用調整助成金の支給動向からみる産業別の傾向

マクロの労働市場状況や雇用情勢を把握しつつ、雇用調整助成金の支給に係る累積値及び直近値から以下のような視点で分析を行う。

- ・長期間継続して受給している産業・企業の特徴
- ・1件当たり決定額の推移
- ・感染動向との相関
- ・雇用関係指標との相関、など

■産業雇用安定助成金活用の好事例と課題

(2) 雇用調整助成金の活用が多い産業の分野別課題

雇用調整助成金の活用実績が多い産業分野に係る課題の洗い出しを行う。

①ヒアリング

- ・業界（需要回復期に向けた人的課題など、雇用調整助成金活用のメリット/デメリット、産業政策への要望）
- ・個社（受給企業、受給していない企業、過去受給していたが現在は受給を取りやめた企業等）
- ・（独）労働政策研究・研修機構（（1）の現状分析に対する意見等）

②上記ヒアリングを踏まえ、雇用調整助成金の支給動向から見た産業別課題を整理し、方向性を提案